

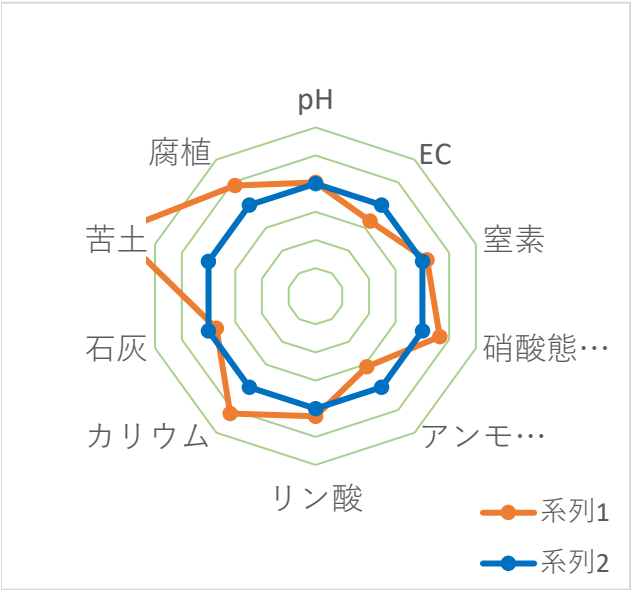
施肥設計

土壌分析結果と過不足 および選定結果

作物名	トマト	記録日	20241128
圃場名	3-3-A	生産者名	きむら農園様

項 目	pH	EC	窒素	硝酸態窒素	アンモニア態窒素	リン酸	カリウム	石灰	苦土	腐植	石灰/苦土比	苦土/カリ比
		mS/cm	mg/100g							%	meq/meq	
土壌分析結果(A)	6.785	0.3	3.5	3.3	0.1	127.2	64.6	247	132.5	5.6	1.3	4.8
土壌養分適正值(B)	6.5	1	3	2	1	100	30	350	30	3	4.5	4
相対値	1.04	0.30	1.17	1.65	0.10	1.27	2.15	0.71	4.42	1.87	0.288888889	1.20
	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
A－B（過不足）	0	(1)	1	1	(1)	27	35	(103)	103	3	(3)	1

上表は、土壌分析結果とCECに対応した土壌養分適正值から過不足を求めている。過不足を解消し、適性施肥或いは、最適施肥を実施するためには、施肥設計に関する各種情報を参考にしてください。



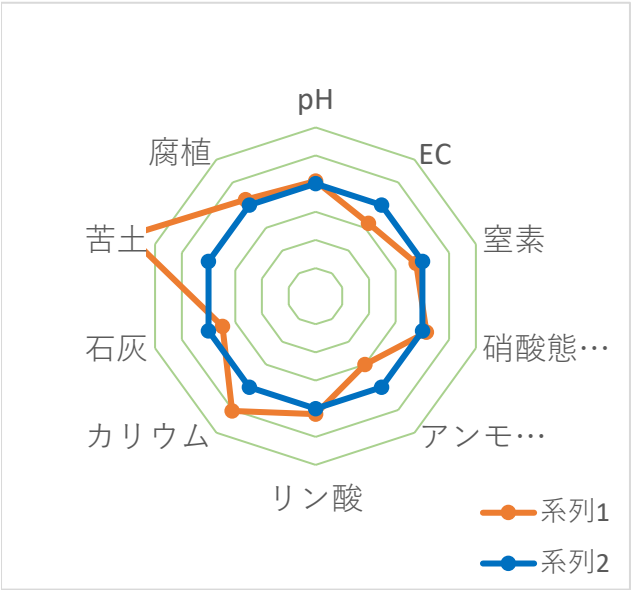
施肥設計

土壌分析結果と過不足 および選定結果

作物名	トマト	記録日	20241128
圃場名	3-7-C	生産者名	きむら農園様

項 目	pH	EC	窒素	硝酸態窒素	アンモニア態窒素	リン酸	カリウム	石灰	苦土	腐植	石灰/苦土比	苦土/カリ比
		mS/cm	mg/100g							%	meq/meq	
土壌分析結果(A)	7.107	0.2	2.3	2.3	0.1未満	119.6	61.2	167	119.6	3.72	1	4.6
土壌養分適正值(B)	6.5	1	3	2	1	100	30	350	30	3	4.5	4
相対値	1.09	0.20	0.77	1.15	計測不可	1.20	2.04	0.48	3.99	1.24	0.222222222	1.15
	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
A－B（過不足）	1	(1)	(1)	0	計測不可	20	31	(183)	90	1	(4)	1

上表は、土壌分析結果とCECに対応した土壌養分適正值から過不足を求めている。過不足を解消し、適性施肥或いは、最適施肥を実施するためには、施肥設計に関する各種情報を参考にしてください。



	測定項目												
	pH	EC	窒素全量	硝酸態窒素	アンモニア態窒素	リン酸	カリウム	石灰	苦土	腐植	石灰/苦土比	苦土/カリ比	コロニー数
		mS/cm	mg/100g							%	meq/meq		
適正值	6.5	1	3	2	1	100	30	350	30	3	4.5	4	3000
3-3-A	6.785	0.3	3.5	3.3	0.1	127	64.6	247	133	5.6	1.3	4.8	2135
3-7-C	7.107	0.2	2.3	2.3	0.1未満	120	61.2	167	120	3.72	1	4.6	2986

<コメント>

今までの測定方法から変わりましたので、リン酸や石灰(カルシウム)など全ての数値の精度が上がっております。
 前回よりもECがさらに下がり、作終わりとしては適正な値ではないかと思ひます。
 カルシウムの数値も順調に下がっております。酸性よりはアルカリ性の方が良いと思ひますし、pHを意識しすぎてカルシウムの投入を控えすぎると生育が悪くなることもあります。
 灌水の問題もあると思ひますがpHの数値にあまり固執し過ぎないようにして下さい。
 カリウムが過剰になり過ぎるとマグネシウムやカルシウムの吸収が阻害され、欠乏症が現れたり、根の成長が遅くなり根の先端が黒くなる場合もあるのでお気をつけて下さい。
 スタートアップで根張りを良くしたり、アクティーフで肥料成分やミネラルの吸収を促進してもらいつつ、もしカリウムが今後土壌に蓄積していくようでしたら海藻由来の資材の投入量を控えた方が良くかもしれません。
 腐植も全体的に高く、3-7-Cに関しては菌数もバランスが良いと思ひます。